

伝道書4章 70人訳

- 1 それで私は戻った、そして太陽の下で行われるあらゆる圧迫を見た、そして見よ、圧迫されるものの涙を。彼らには慰め主がない、そして彼らのかたわらで圧迫するものたちには、力がある、しかし、彼らには慰め主がない。
- 2 それで私は生きているものより、すでに死んでいる死んだものを今まで生きているものよりもほめる。
- 3 それら両者よりよいものはまだ生まれていないものであり、彼は太陽の下で行われる全ての邪悪なわざを見ない。
- 4 そして私は全ての働きを見た、それら全ては熱心なわざである、それは隣人に対する人のねたみである。それも空しく霊の惑わしである。
- 5 愚か者は彼の両手をともに曲げ、彼自身の肉を食らう。
- 6 両手いっぱいトラブルや霊の惑わしに入るより、片手の安息のほうが良い。
- 7 それで私は戻り、太陽の下に空しさがあるのを見た。
- 8 たった一人の人がおり、もう一人の人はいない、そして息子も兄弟も持たない。しかしながら、彼の全ての働きには終わりはない、そして彼の目は富に満足しない、誰のために私は働いているのか、私の良いたましいを奪うのか、これもまた空しく、邪悪なトラブルである。
- 9 2人は一人より良い、彼らは彼らの働きに報いを受けるからである。
- 10 もし彼らが倒れるなら、一人が彼の相棒を助ける、しかし、一人の人の場合は悲しい、彼が倒れるとき、彼を助け上げる2人目はいない。
- 11 そして2人が寝るなら彼らは暖かくなる、一人ならどうやって暖かくなるのか？
- 12 そして誰かが一人を攻撃するなら、2人で彼にあたることができる、そして三つよりの綱は簡単には切れない。
- 13 どのようにして気をつけるべきかをもはや知らない年寄りで愚かな王よりは貧しく賢い子供のほうがよい。
- 14 彼は囚人を治める家から出る、何故なら、彼は彼もまた彼の王国で貧しくなったからである。
- 15 私は太陽の下で歩く全ての生き物が、それぞれの場所で立つ次の若者とともにあることを見た。
- 16 彼ら以前の者たちにとっては、人々には終わりが無い。最後は、彼にあって喜ぶわけではない、それでこれも空しく霊の惑わしである。